

年齢推定法に関する研究

グループ紹介

研究代表者：竹下治男(医学部・教授)
藤原純子(医学部・助教)

概要

法医学の分野では、その人が誰であるかを特定する個人識別が非常に重要な役割を果たします。年齢の推定は個人を特定する上で大切ですが、年齢を推定・決定できるような研究成果は今のところ極めて限られています。私たちの研究室では、年齢依存性(年齢に応じて変化する)生体分子の検出・解析による年齢推定法の確立をめざしています。

特色研究成果今後の展望

犯罪の被害者を特定する個人識別は法医学の分野では非常に大切です。また、大災害時等における身元不明のご遺体の個人識別には年齢の推定が重要な役割を果たしますが、指標となるものは限られています。たとえば、頭蓋骨や歯の特徴が利用されていますが、これらの指標のみでは年齢を絞り込むのは困難です。さらに、血液などの体液から年齢推定を行うのに有効な指標はありません。そこで私たちは、成長・発達・老化の各ステージにおいて特異的に出現・消失するようなタンパク質などの年齢依存性(年齢に応じて変化する)生体分子の発見・利用から、年齢推定法の確立をめざしています。

